

高知県企業・組織機関のロゴマークに関する研究

高知工科大学経済・マネジメント学群

1200400 伊藤さくら

1. はじめに

本研究の目的は、高知県内企業・組織機関のロゴデザインが持つ特徴・傾向を明らかにし、また、その分析結果から高知県内企業の知名度の上げ方・ブランディング・差別化方法等を考察し提示することである。その結果、高知県企業のロゴマークの傾向は、「高知県特有の自然をロゴマークに起用する企業・組織機関は複数社見られた」、「高知県の名物、著名人等をロゴマークに起用する企業、組織機関は非常に少ない」ことが明らかになった。しかし、『高知県の企業・組織機関である』という事をアピールするツールとして利用されていない」ことが示された。

2. 研究背景

私たちは、日常生活において目にする様々な色彩やデザイン等から、非常に多くの情報を受け取っている。また、その視覚から得た情報は、人間が他者やモノに抱く第一印象の約80%を占めると言われている。つまり、何気なく目にする色彩やデザイン等は、人々が抱くイメージ（第一印象）を大きく左右する重要なツールであると考えられる。そして、そのツールの一つに企業や組織が設定する「ロゴマーク」の存在がある。多くの企業は、自社のシンボルとしてロゴマークを用いることで、他社との差別化や企業理念を表現したオリジナリティの作成を行い、顧客やユーザーに対する自社の印象づけを行っている。こうしたロゴマークを用いた企業のブランド化は、既存の企業は勿論、新規企業にとっても販売戦略・差別化等の武器になると言えるだろう。

各地域企業・組織機関のロゴマークに着目した研究は少数存在するものの、高知県内企業・組織機関のロゴマークに焦点を当てた研究は無い。よって本稿では、高知県内企業・組織機関のロゴデザインを対象に、その特徴・傾向を調査し、高知県の新たなブランディング法の可能性として、企業・組織機関のロゴマークに着目した研究を行う。

3. 研究目的

本研究では、高知県内企業・組織機関のロゴデザインが持つ特徴・傾向を明らかにし、また、その分析結果から高知県内企業のブランディング方法、差別化方法等を考察し提示する。そして今後、高知県内企業・組織機関がロゴデザインを考案する際、貢献できる研究を行う。

4. 研究方法

本研究は以下の手順で行う。

- ① 第一次産業～第三次産業までの全ての企業と、全ての教育機関・行政機関のロゴマークを調査する（高知商工会議所による企業一覧を参考）。
- ② 業界ごとに「色」、「書体」、「商品関連のデザイン」、「高知県に関連したものを起用したデザイン（高知県の形・自然環境・特産品・著名人等）」に該当する企業・組織機関の数を算出し、その業界に対する比率を計算する。
- ③ 業界ごとでどのような特徴や傾向がみられるのか明らかにする。
- ④ 特徴分析の結果から高知県内企業のブランディング方法、差別化方法等を提示する。

5. ロゴデザインについて

ロゴデザインは主に以下の要素で構成されている。



(図1 高知工科大学校章)

(高知工科大学ホームページから引用 <https://www.kochi-tech.ac.jp/> 2020年1月25日)

- ① シンボル(マーク): 企業の理念や特徴、業種や商品を表す象徴をデザインにしたもの。
- ② ロゴタイプ: 社名や商品名の文字をメインにデザ

インにしたもの。

また本研究では、主にシンボルに注目して調査を行うが、シンボルを持たない企業・組織機関についてはロゴタイプを調査対象とする。

6. 調査結果

①農林水産業：21社

農林水産業のロゴマークの特徴として、

- ・農作物をモチーフにしたもの（みかん、トマト、きのこ）
- ・自然をモチーフにしたもの（山、太陽、木）
- ・字体が手書き風であるもの

が挙げられる。高知県の特産品と言えば、ナス・ピーマン・新高梨・ユズ・鰹等があるが、これらをロゴマークとして採用する企業は見られなかった。一方で、高知県特有の自然豊かな地形を象徴するデザインは存在した。また、社名を古風な字体で表記した企業も見られた。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|----------------|
| 色 | 特徴無し |
| 書体 | 手書き風：3社 → 約14% |
| 商品関連 | 4社 → 約19% |
| 高知県関連 | 1社 → 約5% |

②建設業：82社

建設業の種別は以下のように分類する。

[総合建設、土木工事、電気工事、電気通信工事、管工事、住宅、住宅リフォーム等、木造建築等工事、庭園等工事、仮設工事、塗装工事、内装工事、屋根工事、はつり・解体工事]

建設業のロゴマークの特徴として、

- ・青色や緑色を用いたもの
 - ・社名の頭文字をアルファベット表記にしたもの
 - ・(住宅分野) 家や木、山をデザインに起用したもの
- が挙げられる。青色は理性や信頼、堅実等のイメージを持ち、日本ではコーポレートカラーとして多くの企業で青色が採用されている。また緑色は、生命力や自然を連想する色で、癒やしや安らぎといった印象を与えられる。建設業という人々の暮らしに密接に関わる業界である故に、「信

頼」「堅実」「安らぎ」を感じさせられる色を用いた企業が多い可能性が考えられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 青メイン：23社 → 約28% |
| | 緑メイン：15社 → 約18% |
| | 青・緑：6社 → 約7% |
| | 赤・青：9社 → 約11% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 5社 → 約6% |
| 高知県関連 | 無し |

③製造業

製造業の種別は以下のように分類する。

[食料品・飲料、繊維製品、製材・家具・製紙・紙製品、印刷・同関連業、化学製品・窯業・研磨材・ガラス、金属製品、一般産業機械具、その他製造]

また製造業は、食料品・飲料分野（57社）とその他分野（121社）の取り扱う製品が異なる為、それら二つの分野の特徴をまとめる事とする。

(1) 食料品・飲料のロゴマークの特徴として、

- ・企業が扱う製品をロゴデザインにしたもの（アイス、牛、カブ、ユズ等）
- ・社名に関連するものをロゴデザインにしたもの（例：「ひまわり乳業(株)」→ひまわり、「水車亭」→水車）
- ・字体が手書き風であるもの

が挙げられる。全体的に、取り扱う製品を一目で理解出来る企業が多い傾向にあった。また、企業名を古風な字体でデザインしている企業もいくつかあり、生活の一部である食料品・飲料分野にとって必要不可欠な、「安心感」や「親しみやすさ」といった印象を与えるものであると考えられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|------|-----------------|
| 色 | 赤メイン：18社 → 約32% |
| | 青メイン：4社 → 約7% |
| | 緑メイン：4社 → 約7% |
| 書体 | 手書き風：13社 → 約23% |
| 商品関連 | 7社 → 約12% |

| | |
|-------|----------|
| 高知県関連 | 1社 → 約2% |
|-------|----------|

- (2) 繊維製品、製材・家具・製紙・紙製品、印刷・同関連業、化学製品・窯業・研磨材・ガラス、金属製品、一般産業機械具、その他製造のロゴマークの特徴として、
- ・青色、緑色、赤色を用いたもの
 - ・社名をアルファベット表記にしたもの（社名全体／社名の頭文字）
 - ・企業を取り扱う製品をロゴデザインにしたもの（木、葉、竹、本、洋服、歯車等）
- が挙げられる。青色、緑色が与える印象については、②建設業 で示した通りだが、赤色は活発な様子や情熱、太陽等を連想させ、人々にエネルギーや力を与える色である。様々な製品を製造する業界である為、「誠実性」や「活動性」を表す色を用いることで、情熱を持って堅実に業務を遂行する印象を受ける。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 青メイン：41社 → 約34% |
| | 赤メイン：15社 → 約12% |
| | 緑メイン：9社 → 約7% |
| | 赤・青：8社 → 約7% |
| | 青・緑：3社 → 約2% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 7社 → 約6% |
| 高知県関連 | 2社 → 約2% |

④情報通信業：46社

情報通信業の種別は以下のように分類する。

[通信業、情報サービス業、映像・音声・文字情報制作企業]

情報通信業のロゴマークの特徴として、

- ・色とりどりで、形、字体等が様々である
- ・（ソフトウェア業）青色を用いたもの

が挙げられる。ソフトウェア業界は青色を用いたロゴデザインが多く見られたが、その他分野のロゴマークについては、色彩・形・字体等に目立った傾向は無いように感じられた。また、通信業（テレビ放送、ラジオ放送、有線放送等）はクリエイティブな職業である為、色彩や形に偏りが

無く多様なロゴデザインを設定している可能性が考えられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 青メイン：17社 → 約37% |
| | 緑メイン：5社 → 約11% |
| | 赤メイン：3社 → 約7% |
| | 赤・青：3社 → 約7% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 1社 → 約2% |
| 高知県関連 | 1社 → 約2% |

⑤運輸業：32社

運輸業の種別は以下のように分類する。

[鉄道運輸、道路旅客機運輸、沿海海運、内陸水運、貨物運輸、航空運送、飛行場業、自動車道業、観光案内]
運輸業のロゴマークの特徴として、

・（鉄道運輸、道路旅客機運輸）高知県に関連するものを用いたもの

- ・青色、緑色、橙色を用いたもの

が挙げられる。上記したように、鉄道運輸、道路旅客機運輸は高知県に関連するもの（波、鯨、高知県の地図）をデザインに起用した企業が多く見られた。これは、県民だけでなく県外の人々にも多く利用される業界故、高知県を代表するものを用いたデザインが多い傾向にある可能性が高いと予測される。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-------------------|
| 色 | 青メイン：9社 → 約28% |
| | 緑メイン：5社 → 約16% |
| | オレンジメイン：4社 → 約13% |
| | 赤メイン：2社 → 約6% |
| | 青・オレンジ：4社 → 約13% |
| | オレンジ・緑：2社 → 約6% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 無し |
| 高知県関連 | 3社 → 約9% |

⑥卸・小売業

卸・小売業の種別は以下のように分類する。

[卸売、量販店・小売]

また、卸・小売業に関しては、上記の各種別の中でも取り扱う製品が異なる為、さらに詳細に分類し、分類した中で近い分野同士で分け、特徴をまとめる事とする。

(1) 卸売

[各種商品、繊維・衣服等（靴）、食料品関連、電気建設資材、燃料関連、再生資源、機械器具、商事、農業資材・肥料他、包装資材、塗料・塗装全般、美容材料・化粧品・美容器具・婚礼用品、花・植木・青果]

① [食料品関連、花・植木・青果] (6社) のロゴマークの特徴として、

- ・赤色、黒色を用いたもの

が挙げられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|---------------|
| 色 | 赤メイン：3社 → 50% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 2社 → 約33% |
| 高知県関連 | 無し |

② [各種製品、繊維・衣服等（靴）、電気建設資材、燃料関連、再生資源、機械器具、商事、農業資材・肥料他、包装資材、塗料・塗装全般、美容材料・化粧品・美容器具・婚礼用品] (41社) のロゴマークの特徴として、

- ・青色、黒色を用いたもので、形は多種多様である
- ・アルファベット表記であるもの

が挙げられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|---|
| 色 | 青メイン：16社 → 約39% 赤メイン：7社 → 約17% 緑メイン：4社 → 約10% 赤・青：2社 → 約5% 青・緑：2社 → 約5% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 1社 → 約2% |
| 高知県関連 | 無し |

(2) 量販店・小売

[量販店、ミニスーパー、アンテナショップ、ネット販売、衣料品、寝具、身の回り品、靴、酒類、農作物、魚介類・干物、畜産、パン・菓子・もち、飲料、コーヒー・茶、弁当・乾物等の加工飲食料品、自動車、自動二輪・自転車、船舶、家具、パソコンショップ、機械器具、薬局・化粧品・健康用品・化粧品用品、金物・荒物・陶磁器・ガラス類、燃料・ガソリンスタンド、本・レンタルビデオ、スポーツ用品、玩具・娯楽用品、楽器・CD、カメラ・フィルム、時計、眼鏡、ホームセンター、花・植木、ジュエリー製品、ペット用品、古美術品、中古品、絵画、石材・石碑、印象、造花]

① [量販店、アンテナショップ、ネット販売、衣料品、寝具、身の回り品、靴、酒類、農作物、魚介類・干物、畜産、パン・菓子・もち、飲料、コーヒー・茶、弁当・乾物等の加工飲食料品] (91社) のロゴマークの特徴として、

- ・(量販店) 赤色を用いたもの
- ・(酒類、農作物、魚介類・干物、畜産、パン・菓子・もち) 字体が手書き風であるもの
- ・企業が取り扱う製品に関連するものをモチーフにしたもの(野菜、家、海、魚)

が挙げられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|---|
| 色 | 赤メイン：24社 → 約26% 黒メイン：13社 → 約14% 緑メイン：12社 → 約13% 青メイン：7社 → 約8% 茶色メイン：7社 → 約8% ピンクメイン：5社 → 約5% |
| 書体 | 手書き風：11社 → 約12% |
| 商品関連 | 9社 → 約10% |
| 高知県関連 | 4社 → 約4% |

② [自動車、自動二輪・自転車、船舶、家具、パソコンショップ、機械器具、金物・荒物・陶磁器・ガラス類、燃料・ガソリンスタンド、本・レンタルビ

デオ、スポーツ用品、玩具・娯楽用品、楽器・CD、カメラ・フィルム、時計、眼鏡、ホームセンター、花・植木、ジュエリー製品、ペット用品、古美術品、中古品、絵画、石材・石碑、印象、造花] (76社) のロゴマークの特徴として、

・企業が取り扱う製品に関連するものをモチーフにしたもの (車、スパナ、補聴器、家具、音符、花、動物)
が挙げられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|------------------|
| 色 | 青メイン：14社 → 約18% |
| | 黒メイン：12社 → 約16% |
| | 赤メイン：11社 → 約14% |
| | 緑メイン：9社 → 約12% |
| | オレンジメイン：4社 → 約5% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 16社 → 約21% |
| 高知県関連 | 無し |

⑤ [薬局・化粧品・健康用品・化粧用品] (10社) のロゴマークの特徴として、

・緑色、桃色、水色等の柔らかい色を用いたもの
・企業が取り扱う製品に関連するものをモチーフにしたもの (薬)
が挙げられる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 緑メイン：5社 → 50% |
| | 青メイン：2社 → 20% |
| | ピンクメイン：2社 → 20% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 2社 → 約20% |
| 高知県関連 | 無し |

⑦金融・保険業：10社

金融・保険業の種別は以下のように分類する。

[銀行業、協同組織金融業、質屋、クレジットカード業、補助的金融業・金融附帯業、保険媒介代理業]

金融・保険業のロゴマークの特徴として、

- ・赤色、青色、緑色、黒色を用いたもの
- ・企業名の頭文字をマークにしたもの

が挙げられる。顧客からの信用が必要不可欠である金融業界において、「誠実性」や「堅実さ」をイメージさせる青色は頻繁に使用されているように感じる。また、高級感や厳かな印象を与える黒色をロゴデザインに取り入れる企業も複数見られた。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|---------------|
| 色 | 青メイン：4社 → 40% |
| | 赤メイン：2社 → 20% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 無し |
| 高知県関連 | 1社 → 10% |

⑧不動産・物品賃貸業：30社

不動産業・物品賃貸業の種別は以下のように分類する。

[不動産売買・仲介、不動産賃貸、物品賃貸業、建設機械賃貸業、スポーツ娯楽用品・音響賃貸業、貸衣装業、]

不動産業・物品賃貸業のロゴマークの特徴として、

- ・企業が取り扱う製品モチーフにしたもの (ドア、家)
- ・社名に関連するものを用いたもの (例：「(有)プラスホーム」→+のマーク、「(有)かえで企画」→楓のマーク)

・シンボルを設定せずロゴタイプのみで構成で、その色や形は多種多様

が挙げられる。不動産業では、ドアや家をデザインに起用した企業が複数社見られた。また、社名に関連のあるものをロゴマークに起用する企業もいくつかあったが、一方でシンボルを設定せず、社名のみがロゴデザインにされている企業も多く見られた。特に貸衣装業は3社全てがアルファベット表記のロゴタイプのみで構成されているという特徴があった。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|---|----------------|
| 色 | 青メイン：6社 → 約20% |
|---|----------------|

| | |
|-------|---|
| | 緑メイン：4社 → 約13% オレンジメイン：2社 → 約7% 青・オレンジ：2社 → 約7% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 3社 → 10% |
| 高知県関連 | 無し |

⑨学術研究、専門・技術サービス業：35社

学術研究、専門・技術サービス業の種別は以下のように分類する。

[法律・特許事務所、司法書士事務所、会計・税理士事務所、広告、獣医業、建築・設計測量、写真業]

学術研究、専門・技術サービス業のロゴマークの特徴として、

- ・色、形は多種多様である
- ・一目でどんな業種の企業であるかわかりにくい。一方で、獣医業や写真業は、犬やカメラをロゴデザインに起用しており比較的分かりやすい

が挙げられる。全体的に目立った系統は無い印象である。しかし、獣医業では動物がデザインされている企業や、写真業でもカメラをモチーフにしている企業も存在した。一方で、高知県の名産品や著名人をロゴマークに起用する企業は一つも無かった為、「高知県の企業」であることを積極的にアピールする業界では無い印象を受けた。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|--|
| 色 | 緑メイン：6社 → 約17% 青メイン：4社 → 約11% 赤メイン：3社 → 約9% オレンジメイン：2社 → 約6% ピンクメイン：2社 → 約6% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 4社 → 約11% |
| 高知県関連 | 無し |

⑩生活関連サービス業

生活関連サービス業・娯楽業の種別は以下のように分類する。

[理容業、美容業、公衆浴場業等、エステティック業、旅行業、墓地管理業、葬儀業、婚礼サービス、ペット訓練、犬猫霊園管理等、ライブハウス、ゴルフ場、バッティング場、観光施設、遊技場、ダイビング及び釣り・遊漁船]

また、生活関連サービス業・娯楽業に関しては、上記の各種別の中でも提供するサービスが異なる為、以下のように分類し、特徴をまとめる事とする。

- ・(1) [理容業、美容業、公衆浴場業等、エステティック業]
- ・(2) [墓地管理業、葬儀業、婚礼サービス、犬猫霊園管理等]
- ・(3) [旅行業、ライブハウス、ゴルフ場、バッティング場、観光施設、遊技場、ダイビング及び釣り・遊漁船、ペット訓練]

- (1) [理容業、美容業、公衆浴場業等、エステティック業、旅行業] (18社) のロゴマークの特徴として、
- ・赤色、黒色を主に用いたシンプルなもの
 - ・アルファベット表記であるもの
 - ・企業が提供するサービス内容に関連するものを起用したもの (はさみ、手)

が挙げられる。全体的に、色、形、字体共にシンプルなデザインが多く、また理・美容業のほとんどの企業でアルファベット表記のロゴマークが起用されている。加えて、はさみや人の手等、サービスの提供内容に関連するマークを設定する企業も見られた。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|---|
| 色 | 黒メイン：7社 → 約39% 赤メイン：2社 → 約11% オレンジメイン：2社 → 約11% ピンクメイン：2社 → 約11% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 2社 → 約11% |
| 高知県関連 | 1社 → 約6% |

(2) [墓地管理業、葬儀業、婚礼サービス、犬猫霊園管理等] (24社) のロゴマークの特徴として、

- ・(墓地管理業、葬儀業) 黒色、青色等の落ち着いた色を用いたもの

- ・(婚礼サービス) 黄色、桃色等の明るい色を用いたもの

が挙げられる。上記のように墓地管理業、葬儀業と婚礼サービスでは、ロゴデザインの色合いが全く異なっており、企業の業務・サービス内容はロゴデザインに影響を与えている事が分かる。また婚礼サービス分野の企業のほとんどが、ロゴマークにアルファベットを多く使い、デザイン性豊かなロゴマークを作成しており、華やかな印象を受ける。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-------------------|
| 色 | 黒メイン：5社 → 約21% |
| | 緑メイン：4社 → 約17% |
| | ピンクメイン：4社 → 約17% |
| | 青メイン：3社 → 約13% |
| | オレンジメイン：3社 → 約13% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 無し |
| 高知県関連 | 無し |

(3) [ライブハウス、ゴルフ場、バッティング場、観光施設、遊技場、ダイビング及び釣り・遊漁船、ペット訓練] (27社) のロゴマークの特徴として、

- ・企業が提供するサービス内容に関連するものを起用したもの(自転車、馬、ゴルフの旗、やなせたかし作画のキャラクター、ブドウ)

- ・(ダイビング及び釣り・遊漁船) 青色を用いたものが挙げられる。全体的に目立った傾向は見られないが、ダイビング及び釣り・遊漁船分野は青色を基調としたロゴデザインが多く、海や釣りを連想させるロゴマークである。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|---|----------------|
| 色 | 青メイン：7社 → 約26% |
|---|----------------|

| | |
|-------|----------------|
| | 赤メイン：5社 → 約19% |
| | 緑メイン：5社 → 約19% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 6社 → 約22% |
| 高知県関連 | 無し |

⑪教育・学習支援業：32団体

教育・学習支援業の種別は以下のように分類する。

[社会教育施設、学習塾、教養・技能教授業、その他]

教育・学習支援業のロゴマークの特徴として、

- ・組織機関が取り扱うものを用いたもの(本、花、魚)

- ・社名に関連するものを用いたもの(例：「砂浜美術館」→波と浜)

が挙げられる。各施設が取り扱うものをロゴマークに起用する機関が多く見られた。また、水族館・海底館やカヌー館、ドルフィセンターは総じて青色を基調としたデザインで、学習塾やその他学校は赤色を基調としたデザインが多いと判明した。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|------------------|
| 色 | 青メイン：11団体 → 約34% |
| | 赤メイン：7団体 → 約22% |
| | 緑メイン：2団体 → 約6% |
| | 青・オレンジ：3団体 → 約9% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 9団体 → 約28% |
| 高知県関連 | 2社 → 約6% |

⑫医療・福祉業：49社

医療・福祉業の種別は以下のように分類する。

[医療業、各社会福祉・介護]

医療・福祉業のロゴマークの特徴として、

- ・十字マーク、花、ハート、太陽、月、鳥を用いたもの

- ・緑色、桃色、水色等の柔らかい色合いのもの

・病院名に関連するものをロゴデザインに起用したものの（例：「もみのき病院」→木、「北島病院」→‘北’をデザイン化）

が挙げられる。病院のロゴマークの傾向として、特に十字マークを用いる事が多いと分かった。十字マークと言えば日本赤十字社だが、赤色の十字マークを赤十字社以外の企業機関が使用することは法律で禁止されている。その為、今回調査した高知県内の医療業界では、十字マークを起用する病院が多かったものの、色や形、デザインを変えた十字マークをロゴマークとして用いる事が多いと判明した。またその他のデザインについても、形は多様で、人が二人で走っている姿やハート、花等がデザインとして用いられている施設が多数あった。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|------------------|
| 色 | 赤メイン：9社 → 約18% |
| | 青メイン：8社 → 約16% |
| | 緑メイン：8社 → 約16% |
| | ピンクメイン：8社 → 約16% |
| | 黄色メイン：4社 → 約8% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 8社 → 約16% |
| 高知県関連 | 2社 → 約4% |

⑬各種サービス業：40社

サービス業の種別は以下のように分類する。

[一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分、自動車整備、建物サービス。クリーニング、ディスプレイ・イベント・コンサート、プリペイドカード業務、集金業務、宗教]

サービス業のロゴマークの特徴として、

- ・色、形は多種多様である
- ・企業が取り扱う製品をモチーフにしたロゴマークが少ない

が挙げられる。サービス業のロゴマークには目立った傾向は無く、業界や製品に縛られる事無くロゴデザインを生み出していると言えるだろう。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|----------------|
| 色 | 青メイン：12社 → 30% |
| | 緑メイン：5社 → 約13% |
| | 赤メイン：4社 → 10% |
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 2社 → 5% |
| 高知県関連 | 無し |

⑭宿泊業：116社

宿泊業の特徴として、

- ・黒色、青色、緑色、赤色を用いたもの
- ・字体が手書き風であるもの

が挙げられる。宿泊業では、筆書きや手書きのようなデザインのロゴタイプを持つ企業が多数あり、他業種と比較してもそのようなロゴデザインが全体に占める割合は多い方である。またそのようなデザインに該当する企業の数には、「旅館（11件）」、「民宿（6件）」、「ホテル（3件）」の順で多いことが判明した。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 黒メイン：29社 → 25% |
| | 青メイン：22社 → 約19% |
| | 緑メイン：10社 → 約9% |
| | 赤メイン：8社 → 約7% |
| 書体 | 手書き風：20社 → 約17% |
| 商品関連 | 3社 → 約3% |
| 高知県関連 | 無し |

⑮飲食サービス業：30社

飲食サービス業の特徴として、

- ・字体が手書き風であるもの
- ・高知県の自然をモチーフにしたもの（川、山）
- ・高知県の形をロゴデザインに取り入れたもの

が挙げられる。郷土料理屋や料亭では、店名を筆で書いたように表記したロゴタイプが多く、「親しみやすさ」と「高級感」を感じられるデザインである。また道の駅では、高知県の豊かな自然をロゴデザインに取り入れる施設が目立った。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|-------|-----------------|
| 色 | 赤メイン：6社 → 20% |
| | 黒メイン：6社 → 20% |
| | 緑メイン：3社 → 10% |
| 書体 | 手書き風：14社 → 約47% |
| 商品関連 | 4社 → 約13% |
| 高知県関連 | 3社 → 10% |

⑩公務：35団体

公務・自治体のロゴマークの特徴として、

- ・市町村ごとに憲章を設定している
- ・憲章の色や形は多種多様である

が挙げられる。各市町村では各々の思いを込めた憲章が作成されている。例えば須崎市では「須崎のスの字を円型波頭状に図案化したもので、躍進須崎市を平和と飛躍発展の象徴として表現」された市章がある（須崎市ホームページから引用 2020年1月16日）。また越知町では「町の中心部である仁淀川、坂折川、柳瀬川の合流点は、あたかも三つの尾のように見えたことから、江戸時代初めまでは「三尾村」と呼ばれた。町章はカタカナの「ヲ」の字を三つ合わせて図にしたもので、川の合流点に開けゆく町を現し、町の前進と向上を象徴」する町章が定められている（越知町ホームページから引用 2020年1月16日）。他にも、仁淀川町では「仁淀川町の『に』の文字をモチーフに、仁淀川などに代表される川を中心の『青』の線で表し、山々を『緑』、人（町民）の力を『赤』で表現しています。また三町村が合併したことを含め、町民を中心に、行政・企業が新しい未来に向かっていくことを三本の線で描いています」（仁淀川町ホームページから引用 2020年1月15日）というメッセージを込めた町章が作られている。このように、市町村の憲章には、各地域の自然豊かな地形や地名をデザイン化したものが多いと分かる。

また、ロゴデザインの比率は以下の通りである。

| | |
|---|----------------|
| 色 | 緑メイン：10 → 約29% |
| | 青メイン：8 → 約23% |
| | 赤メイン：7 → 20% |
| | 赤・緑・青：4 → 約11% |
| | 青・緑：2 → 約6% |

| | |
|-------|-------------|
| 書体 | 統一感無し |
| 商品関連 | 無し |
| 高知県関連 | 33団体 → 約94% |

7. ロゴマークの特徴まとめ

以上の調査で得た全業種の特徴を簡潔にまとめる。

| | |
|-----------------------|--|
| 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業の取り扱う商品をデザイン化 ・手書き風のロゴタイプ |
| 建設業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色や緑色を用いたデザイン ・社名の頭文字をアルファベットでデザイン化 |
| 製造業 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤色や青色を用いたデザイン ・企業の取り扱う商品をデザイン化 |
| 情報通信業 | <ul style="list-style-type: none"> ・色、字体ともに多種多様 |
| 運輸業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色を用いたデザイン |
| 卸・小売業 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤色や青色、黒色を用いたデザイン ・企業の取り扱う商品をデザイン化 ・手書き風のロゴタイプ |
| 金融・保険業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色を用いたデザイン |
| 不動産業・ 物品賃貸業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色や緑色を用いたデザイン ・企業の取り扱う商品をデザイン化 |
| 専門・技術 サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> ・色、形ともに多種多様 ・一目でどんな業種の企業であるかわかりづらい |
| 生活関連 サービス業・ 娯楽業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色や黒色を用いたデザイン ・企業の取り扱う商品をデザイン化 |
| 教育・ 学習支援業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色を用いたデザイン ・企業の取り扱う商品をデザイン化 |
| 医療・ 福祉業 | <ul style="list-style-type: none"> ・十字型をモチーフにしたデザイン ・赤色、青色、緑色、ピンク色を用いたデザイン |
| サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> ・青色を用いたデザイン |
| 宿泊業 | <ul style="list-style-type: none"> ・黒色や青色を用いたデザイン ・手書き風のロゴタイプ |

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 飲食 サービス業 | ・高知県に関連するデザイン ・手書き風のロゴタイプ |
| 公務 | ・緑色や青色を用いたデザイン ・高知県に関連するデザイン |

次に、これらの各業種同士を近似した業種ごとに、大まかなグループに分類し、そのグループごとの特徴を探る。グループ分けは以下の通りである。

| | |
|--|--|
| 農林水産業 卸・小売業 宿泊業 飲食サービス業 (全 391 社) | 黒メイン：60 社 赤／青メイン：59 社 手書き風：48 社 商品関連：41 社 |
| 建設業 製造業 運輸業 (全 292 社) | 青メイン：77 社 緑メイン：35 社 赤メイン：33 社 商品関連：19 社 |
| 情報通信業 金融・保険業 (全 56 社) | 青メイン：21 社 |
| 不動産業・物品賃貸業 生活関連サービス ・娯楽業 サービス業 (全 139 社) | 青メイン：28 社 緑メイン：18 社 商品関連：13 社 |
| 専門・技術サービス業 教育・学習支援業 医療・福祉業 (全 116 社) | 青メイン：23 社 赤メイン：19 社 緑メイン：16 社 商品関連：21 社 |
| 公務 (全 35 団体) | 緑メイン：10 団体 青メイン：8 団体 |

以上の表より、大まかに分類した業界ごとでも、色や書体、商品関連のデザインに特徴が見られた。

そして、全体の調査結果から、以下の 5 点の傾向が認められた。

- ・高知県特有の自然をロゴマークに起用する企業・組織機関は複数社ある
- ・高知県の名物、著名人等をロゴマークに起用する企業、

組織機関は非常に少ない

- ・「高知県の企業・組織機関である」という事をアピールするツールとして利用されていない
- ・農林水産業や飲食サービス等の食に関する業界では、手書き風の書体を用いる企業が多い
- ・全体のロゴマークの特徴として、青を用いる企業・組織機関が多い

また、公務・自治体では、地域への思いを込めた憲章を作成している組織が多く見られたが、高知県企業の傾向として、高知県に関連するデザインを用いるとは限らなかったことが明らかとなった。民間企業では各企業が取り扱う製品をロゴデザインに起用する企業や、社名をデザイン化する企業が多く、自治体の傾向とは異なっていた。しかし、地域活性化は産学官の連携が重要であり、ロゴマークを用いた地域ブランド化においても、民間企業と研究機関、行政が連携し取り組むべき活動であると考えている。

8. 高知県内企業のブランディング方法の提案

調査を通して考えられる現状の高知県のロゴマークに関する課題は、1 点目に「付加価値として地域性を積極的に生み出すこと」、2 点目に「民間企業、研究機関、行政が一つになり地域ブランドを考えること」の二つである。また、それらの課題へ向けた解決策として、以下の事項が挙げられる。多くの企業では「取り扱う商品」や「社名」をロゴデザイン化している。一方で、現在活発化している地域ブランドの創出は、ブランド化する「モノ」よりも「コト」が重要視されている。「コト」とは、ブランド化を目指す製品にまつわるストーリーや、製品に込められた思い等、消費者の感情・感動に訴えかけられる要素を意味する。消費者の心を掴み、興味を向けさせられる「コト」を生み出すことで、製品に付加価値が生まれ、地域ブランドの将来性を左右すると言えるだろう。また、この考え方を用いて、商品や社名等の「モノ」をデザイン化しがちな企業・組織機関のロゴマークに、「コト」の要素を含ませる事で新たな地域ブランドを創出できると考える。産学官の連携の下、高知県の豊かな自然や、製品・企業に込めた思いを反映させたロゴデザインを積極的に作り上げることで、高知県のロゴマークを用いたブランディング法の可能性は広がっ

ていくと考える。

9. 本研究のまとめ

本研究を通して、高知県企業・組織機関のロゴマークを調査したが、全体の特徴として「高知県特有の自然」や「青色」はデザインに多く採用され、「高知県の名物、著名人等」はデザインに採用されづらいことや、「自治体と民間企業ではデザインの傾向が異なる」等の傾向が見られた。加えて、高知県内企業・組織機関のロゴマークは、地域ブランディングの為のツールとしては用いられていないという可能性を導くことが出来た。

10. 今後の課題

高知県企業・組織機関のロゴマークの調査を行ったが、中には企業のホームページが見つからず、ロゴマークを調査出来ない企業が複数社あった為、それらの企業を含めた調査を行うことでより精度の高い研究が進められると考える。今後も、高知県内の企業・組織機関のロゴマークやロゴデザインに着目しながら、「ロゴマークを用いた地域ブランド化」に注目していきたい。

参考研究、参考 URL :

- (1) 『滋賀県における琵琶湖によるイメージ形成の在り方 :シンボルマーク・ロゴタイプの分析から』
(2013 柳橋達郎)
- (2) 『焼津市シティプロモーションにおける取り組み』
(2015 小林克司)
- (3) 『地域活性化における地域ブランドの役割』(2010 伊部)
- (4) 「LOGO expert」
https://logo-expert.biz/question_07-14.html (最終閲覧日 2019年1月20日)
- (5) 「高知商工会議所」
<http://www.cciweb.or.jp/kochi/link.html> (最終閲覧日 2020年2月28日)
- (6) 「高知県庁ホームページ」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/> (最終閲覧日 2020年2月12日)

- (7) 「logo stock」

<https://logostock.jp/category/c-logo/local/> (最終閲覧日 1月10日)

- (8) 「ブランド総合研究所」

<http://tiiki.jp/survey2019/> (最終閲覧日 1月15日)

- (9) 「地域百貨」

<https://chiikihyaku.jp/regional-revitalization/746.html#> (最終閲覧日 2020年2月1日)

- (10) 「ロゴマーケット」

<https://logomarket.jp/> (最終閲覧日 2020年2月1日)